

### 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州松本うらまちレジリエンスプロジェクト
事業主体 (連絡先)	信州松本うらまちレジリエンス協議会 〒390-875 松本市城西1-8-1 Tel 09031432384
事業区分	(6)エ 商業の振興
事業タイプ	ソフト・ハード事業
総事業費	7,462,034 円 (うち支援金:5,000,000 円)

#### 事業内容

1. 演劇というエンターテインメントを通して、来る人に活力を与えるという点で、新しい手法で街の賑わいを創出する。かつてのイメージをサブカルチャーの街へと転換し新たな飲食店街からのイメージの脱却を図る。
2. 「松本駅—松本城—市民芸術館文化ゾーン」を結ぶ抜群の立地を回遊性創出により最大限活用し、歩いて楽しい街松本の楽しさの多様性に貢献する。
3. 江戸時代からの民間信仰や商人地であることを学び、また地域と住民が学生の学びを支えた歴史など眠っている価値を顕在化させ、歴史に学び新たな価値の創造につなげる



(活動写真)

#### 事業効果

- ① 演劇公演 (来場総数 548 人) やフォーラム (参加者 75 名) を通してこれまでこの街に足を向けることのなかった新たな層、すなわち学生、女性、県外者、観光客を集め、賑わいと注目を集めることが出来た。
- ② 刊行物を通して忘れられていた、まだまだ知らなかった魅力を伝えることが出来、また市街地、郊外の店舗でも配布することで深く広い発信に繋がった。
- ③ 歴史講座により眠っている価値から学んだことで、冊子を通して共有を続けて、新たな展開と結びつけ懐かしむ人と新たな人双方をファンにしていく
- ④ 写真展 (総来場 552 人) は予想以上の反響を実感

#### 【目標・ねらい】

- ① 空き店舗活用した街の活性化
- ② 立地を活かした回遊性創出
- ③ 歴史から学び新価値の創造
- ④ 住民・店舗・団体の連携協働

#### ※自己評価【 A 】

【理由】事業に精一杯取り組めたことだけでなく、連携が生まれたことが一番嬉しいことであり、当初目指した以上のことが出来そうな実感があることからこの評価とした。しかしながら2年目が大事。

#### 今後の取り組み

元気づくり支援金の活用もあり、1年目では思っていた以上の事業展開が出来ただけでなく、予想以上の来場や反応もあった。テレビでの放映 (子供中心のワークショップ NHK、うらまち紹介 SBC) 番組でも取り上げられ注目される事業であることにも応えていきたい。実際に目指すべき街のレジリエンス (回復再生) に繋げていくためには、新たな集客を創る同じ価値観を共有する店舗が増えていくことが極めて重要となる。2年目はここに目を向け具体的な空き店舗の見える化に、見学会やイベントなども絡めながら「うらまちらしく」取り組んでいきます。ありがたいことに行動を起こすと連携、賛同してくれる学生グループや市民団体、企業との出会いがあり、自律的に協働しながら、それぞれのやりたいことを実現し哲学を以って活性化につなげる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある